



### 美しいハーモニーを奏でる

#### 野口英世博士顕彰記念小中学校音楽祭

第33回野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭は10月6日、学びいなで開かれ、町内の小中学生が美しいハーモニーを奏でました。午前小学校の部、午後中学校の部を行い、児童、生徒たちは、この日のために練習してきた合奏や合唱を披露しました。

また、「白石啓太&ラテンカーナバル」メンバーによる南米音楽の鑑賞会も行われ、子どもたちはプロミュージシャンの華麗な演奏を楽しみました。

▲猪苗代中学校



▲緑小学校



▲吾妻小学校



▲翁島小学校



▲吾妻中学校



受賞の報告に訪れた鈴木署長(左から2人目)ら

### 無火災 365 日を達成

#### 会津若松地方広域市町村圏整備組合消防表彰

町内における無火災 365 日を達成し、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防表彰を受けた猪苗代消防署は 10 月 24 日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。鈴木保雄消防署長は「火災ゼロを目指して、消防団や町民の皆さんと一丸となり、引き続き予防消防に努めます」と話しました。前後公町長は「日ごろの取り組みのおかげ。地域の皆さんが安心して暮らせるよう、予防消防に取り組んでください」と協力を呼びかけました。

### 教育振興の尽力に感謝

#### 退任教育委員に感謝状贈呈

町教育委員を4年間務め、このほど退任された浅井紘子さん(新町イ)の感謝状贈呈式は10月3日、町役場で行われ、前後公町長が浅井さんに感謝状を手渡しました。

前後町長は「町教育行政の振興、発展にご尽力いただき感謝します。未来を担う子どもたちの教育振興を図るため、引き続きご協力をお願いします」と感謝の言葉を述べました。



前後町長から感謝状を受ける浅井さん(左)



町の部優勝を目指して活躍を誓う選手ら



夜間も練習に取り組む選手



結団式で宣誓する半澤選手(右)

### チーム一丸でいざ大会へ

#### ふくしま駅伝町選手団結団式

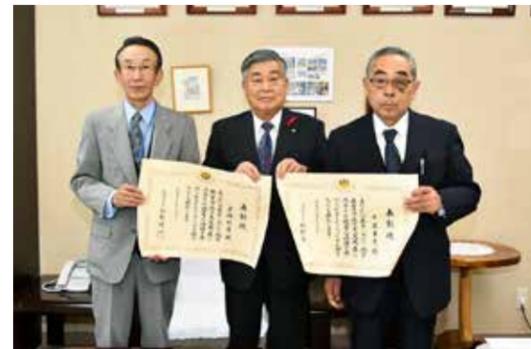
第28回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)の町選手団結団式は10月16日、学びいなで行われました。

結団式には選手ら約50人が出席。前後公町長が「毎年町の部上位入賞ができるのは、選手、関係者の皆さんのおかげ。大会まで十分調整し、万全の態勢でレースに臨んでください」とあいさつ。長沼一夫町議会議長が「町の部優勝を目指して頑張ってください」と激励のこぼを述べました。

渡部敏弘監督は「一人一人の力は昨年よりも成長していると思う。大会本番に向けてしっかりと練習を重ね、町民の皆さんの期待に応えられるよう、チーム一丸となって大会に臨みます」と話しました。

選手団を代表して半澤拓見選手(福島県庁)が「町の代表として、チーム一丸となってタスキをつなぎ、最後まで全力で走ります」と選手宣誓しました。

ふくしま駅伝は11月20日、白河市総合運動公園陸上競技場をスタートし、福島市の県庁前にフィニッシュする16区間、95.1kmで繰り広げられます。猪苗代町チームの応援をよろしくお願いたします。



受賞を報告する土屋教育長(右)と岩橋さん(左)

### 教育行政発展の功績を称え

#### 地方教育行政功労者表彰

地方行政において、その功労が特に顕著な教育委員として、文部科学大臣より地方教育行政功労者表彰を受けた土屋重憲教育長と元教育委員長の岩橋紀男さん(幸野)は10月18日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。前後町長は「受賞は長年にわたる尽力のおかげ。引き続きご協力をお願いします」と話しました。土屋教育長は「町教育行政発展のため、今後も努力します」と話しました。

### 写真を通じ文化財に触れる

#### 土津神社史跡散策・写真撮影会

町は10月21日、土津神社史跡散策・写真撮影会を土津神社で開きました。国指定史跡の会津藩主松平家墓所である土津神社について理解を深めることを目的として、今回で5回目の開催となりました。写真撮影会には町民21人が参加。和光写真の芥川和也さんを講師に迎え、カメラの構図や露出の調整方法など、風景写真撮影の基礎を学びました。今回撮影した作品は、11月20日まで、和みいなに展示されます。



芥川さん(右)から写真の基礎を教わる参加者



前後町長から辞令を受ける涌井さん(右)

## 土屋教育長、涌井委員に辞令交付

### 教育長、教育委員辞令交付式

任期満了に伴う教育長の辞令交付式は10月3日、町役場で行われ、前後公町長が再任となる土屋重憲さん(壺下)に辞令を交付しました。また、新たに教育委員として着任した涌井靖さん(旭町)に辞令が交付されました。式では、前後町長が「未来ある子どもたちのため、町教育行政進展に協力をお願いします」とあいさつ。式後、涌井さんは「子どもたちには郷土愛を養ってほしい。教育振興のため、微力ながら尽力します」と話しました。

## 防火の誓い新たに

### 県消防協会猪苗代支部秋季検閲

県消防協会猪苗代支部の秋季連合検閲は10月30日、猪苗代小学校校庭で行われました。猪苗代、磐梯両町の消防団から約540人の団員らが参加。町役場を出発し中央商店街を行進した後、同校の校庭で通常点検、規律訓練や分列行進などをきびきびとこなし、防火の誓いを新たにしました。検閲官の五十嵐源市磐梯町長は「消防団は災害対策の要。日ごろから心身術を磨き、盤石の備えをお願いします」と訓示を述べました。



検閲官らの通常点検を受ける団員



作品を紹介する明子さん(左)と夫の政策さん

## 古民家を移築し絵画館に

### アトリエ・絵画館「山テラス」がオープン

元町教育委員の山本明子さんは10月27日、町内字桐木沢にアトリエと絵画館を兼ねた「山てらす」をオープンしました。山本さんは愛知県出身。結婚後カナダに渡り、大学で美術を学びました。絵画館は古民家を移築して建築。館内には鉛筆や色鉛筆によるデッサンやアクリル画、油彩画など大小さまざまな作品約30点が展示されています。山本さんは「町の自然を感じながら、ゆったりとした時間を過ごしてほしいです」と話しました。

## オフロードコースに挑む

### 第10回ジギスカップ IN 磐梯高原

マウンテンバイクレースの第10回ジギスカップ IN 磐梯高原は10月2日、南ヶ丘牧場で開かれ、スーパーキッズの部からエリートの部までの16部門に235人が参加しました。今大会には、ジギスカップスーパーバイザーに就任している竹谷賢二さんとプロレーサーの平林安里さんが特別ゲストとしてエントリー。参加者は、磐梯高原の自然溢れるオフロードコースに挑みました。



キッズの部でレースに挑む子どもたち



ハーフマラソン部門をスタートする参加者

## 秋の猪苗代路を駆ける

### 猪苗代湖ハーフマラソン

猪苗代湖ハーフマラソン2016は10月23日、カメリーナをスタート・フィニッシュで開かれました。ハーフマラソンなど18の部門に2456人が参加し、健脚を競いました。バルセロナ、アトランタ五輪女子マラソンメダリストの有森裕子さんが大会ゲストとして親子部門に出場。トークショーも開かれ、大会を盛り上げました。秋の猪苗代路を力走する選手に向けて、沿道からは盛んな声援が送られました。

## 地域の安全を守る

### 地域安全運動出動式

猪苗代地区地域安全運動出動式は10月7日、町役場で行われ、猪苗代警察署員や防犯ボランティアら約50人が参加しました。式では、前後公地区防犯協会連合会会長と峯岸正行猪苗代警察署長があいさつ。大川原勝人地区防犯指導隊長が「地域が一丸となり、自分たちの安全は自分たちで守ります」と防犯活動の啓発に向けて決意を述べました。出動式終了後、パトカーと白バイが一斉にパトロールに出動しました。



決意を述べる大川原隊長



猪苗代スキー場のゲレンデをスタートする選手

## 紅葉の磐梯山を駆け巡る

### ゲレンデ逆走マラソン 2016 最終戦

ゲレンデ逆走マラソン2016のシリーズ最終戦「紅葉のゲレンデを走ろう! 磐梯山ハーフマラソン」は10月22日、猪苗代スキー場中央エリアをスタートに開かれ、230人のランナーが過酷なコースに挑みました。開会式では、実行委員の樋口弘明さんが「きついコースですが、磐梯山の紅葉を楽しみながら頑張ってください」とあいさつ。シンガーソングライターのAve(エイヴ)さんは、オリジナルソング「登りきるまで振り向くな」を披露しました。

## 自然豊かなコースを楽しむ

### 猪苗代ノルディックウォーキング

第6回猪苗代ノルディックウォーキング大会は10月15日、国立磐梯青少年交流の家をスタート・ゴールとするコースで開かれました。猪苗代青年会議所が猪苗代の素晴らしい風景を楽しみながら、健康づくりに親んでもらうため開催。町内外から約150人が参加しました。天鏡台や土津神社などを巡る5キロ、8キロ、12キロの3コースで練り広げられ、参加者は猪苗代の秋を楽しみながら爽やかな汗を流しました。



ノルディックポールを手にして歩く参加者